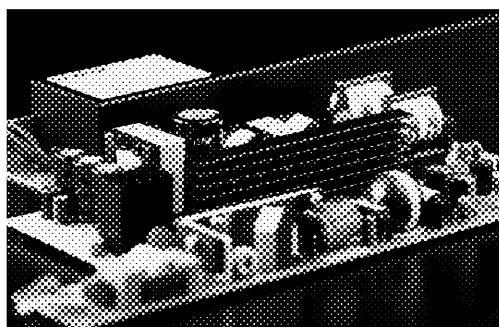


サンシン電気、電源試作

受託開発 200機種超 ノウハウ・部品生かす



サンシン電気（東京＝長）は、AC/DC電源など、石井宏宗社源などの試作事業に参入する。DC/DCコンバーターや制御基板、制御基板と電源を組み合わせた一体化基板などの試作も行う。

従来は基本的にAC/DC電源やDC/DCコンバーター、制御基板などの試作を行う

同社が量産することを前提に試作を請け負っていたが、電源試作に関する相談件数が増えていることを受け、試作を新たな事業として展開する。年間約30件の受注を目指す。

同社はホームページ内に電源試作事業の専用ページを開設し、広く顧客を募る。試作には対応力やスピードが求められるが、電源部品やカスタム性の高い

トランス・コイルなどを保有する強みを武器に事業を拡大する。200機種以上のカスタム電源の開発生産に伴う受託実績を生かし、電源試作事業に応用する。

路設計やパターン設計、評価、量産製造まで一貫で対応する体制も整える。部材調達や特急対応など、顧客の要望にもきめ細かく応える。

開発、製品提案など手がける事業は幅広く、商社機能とメーカー機能を兼ね備えた技術商社。サンシン電気の中核とするサンシングループ（石井宏宗代表）は2026年に創業60周年を迎える。

試作だけでなく、開発・設計・製造や受託